あるかぼーと・唐戸エリアマスタープランデザイン会議

第19回 議事概要

日時	2025年5月13日(水) 13:30~17:00
場所	唐戸市場 2階会議室
参加者(委員)	HBP・KAM 共同事業体：吉田、木村隼、木村大、井上 専門家：熊谷、榎本、長町 事務局：北島副市長(事務局長) 総合政策部 内田、共創イノベーション課 田坂、平山、松永、村上、上野

1. 第4回推進会議の議題等について

(1) 2024年度の取り組み報告

デザイン会議木村大委員、熊谷委員、長町委員より資料に基づき説明の上、議論

- ソトアゾビ実施報告について、社会実験中のエリア回遊性向上の創出が示唆された。
- 公共空間整備について、3~5年後を見据えた全体ビジョンとして、各エリアの整備(緑地やポラード、タテミチの設計、岸壁モバイルファニチャー、海響館リニューアル、カモンワークや唐戸市場等の夜間景観)を連携させ、エリア全体の魅力を向上させることを目指す。
- 公共空間の整備については、あるかぼーとにふさわしいランドマークのあり方について引き続き検討する必要がある。

(2) A地区事業の方向性

下関市港湾局より資料に基づき説明の上、議論

- 今年夏頃にウォーターフロント開発 A地区の民間事業者の公募要項を公表し、冬頃に選定審査委員会を開催、今年度中に優先交渉権者を決定する予定。
- 任意提案として隣接する港湾緑地におけるみなと緑地 PPPの活用提案も検討する予定。

(3) 圧倒的な水際線の利活用に向けた検討

デザイン会議熊谷委員より資料に基づき説明の上、議論

- モバイルユニットの社会実験について、推進会議で承認後、夏に業者決定、8~9月に製作、10月から社会実験開始を予定。
- 台風等の緊急時にはユニット同士を繋げて固定することを検討(ボルト打ち込みによる固定は不可)。

(4) 渋滞対策

下関市市場流通課より資料に基づき説明の上、議論

- 2024年度の実証実験では、値上げによる利用台数の減少幅は小さく、値上げ後増収となった。
- 実証を踏まえて、唐戸市場駐車場の値上げを検討する。ただし、市場関係者等観光客以外の利用者への影響は考慮する。
- 増収分については、エリアの魅力向上のために有効活用する仕組みについて検討する必要がある。
- 実施あたっては周知期間を十分に設けるなど利用者への影響を考慮する。

(5) 令和8年度に向けたロードマップ

下関市共創イノベーション課より資料に基づき説明の上、議論。

- 引き続き、市、地元関係者（市場、海響館、カモンワーク等）、民間事業者との連携を強化し、計画推進のための合意形成を図る。
- 特に、岬之町の暫定的な土地利用やグリーンベルトの検討、海響館の外構(屋外遊具)整備、唐戸市場のリニューアルなどについては、具体的な検討と調整を速やかに進める。
- 全ての整備を一度に行うのではなく、社会実験などを通じて効果を検証しながら段階的に進める。
- 事業の進捗や目指す姿について、市民や関係者への情報発信を適切に行い、理解と協力を得る。

2. 唐戸市場社会実験について（進捗報告）

デザイン会議吉田委員より資料に基づき説明の上、議論。

- 唐戸市場の魅力を主に地元の方々に再認識してもらうためのイベント「唐戸朝市」を実施する。
- 6月2日から13日の間の各月曜日、火曜日、木曜日、金曜日に実施する。
- 期間中は市場のプロによる目利きで選ばれた新鮮な魚を目の前で捌いての販売などを行う。
- 今後は市場公式 LINE や市報、折り込みチラシ等を活用して周知を行う。

以上